

## 第41回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和6年9月3日（火） 11：45～12：20
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
  - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員
  - ・高山委員 ・竹原委員 ・徳島委員 ・野村委員 ・林委員
4. 議 事
  - （1）令和6年度第1四半期の各積立金の運用状況（地共済）
  - （2）令和6年度第1四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）
  - （3）運用力強化の取組方針
  - （4）財政検証を受けたモデルポートフォリオの見直しに向けた検討状況

### 〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。

### （3）運用力強化の取組方針

#### 【委 員】

各共済組合に対して、運用状況の管理、連携を推進するという方向性について、基本的にはよいのではないかと考えている。

ただ、それぞれの組合で運用に関する考え方など、自主性を尊重すべき部分があるのだろうとっており、その点についてのご配慮をお願いしたいということと、いずれも各組合のそれぞれニーズ、やりたいことの差異があるだろうと思うので、意向を踏まえて必要な対応を取ってもらいたい。

#### 【事務局】

今回の運用力強化の取組方針では、地共連が運用力の強化に取り組むことと、併せて地共済全体の協力・連携を推進するということを掲げている。これは、各組合等の積立金の運用に関する自主性に変化を及ぼすものではないと考えている。

今後、地共済全体の協力・連携を具体的に推進するに当たっては、地共連

としては、各組合等の意向を踏まえつつ取り組むとともに、各組合等からも積極的な協力や関与というものを期待しており、地共連と各組合等が相互に連携し、お互いを高め合うことができるよう、共に運用力の強化に取り組んでまいりたいと考えている。

#### 【委員】

今回新たにC I Oを置くということについて、新たにそういう責任的なポストを置かれても、1人で全部何でもできるわけではないと思うので、組織全体の運用力の向上が必要だろうと思っており、プロパー職員においても専門の人材を育成することが重要だと思っている。

ただ、今回、資産運用立国ということで、民間も含めてこれから運用力の強化ということになってくると、優秀な人材が取り合いになって、流動性も高まる、そういう面もあるのだろうと思っていて、内部での育成と、人材が地共連という組織にとどまって運用力をしっかり向上させていく、確立させていくということでの工夫も要るのではないかと思うので、そのあたりの見解についてお聞きしたい。

#### 【事務局】

例えば資格を取得する際にその助成をする仕組みや、スキルの体系化を図るといった取組は当然やっていきたい。今までもやってきていることをさらにしっかりとやっていきたい一方で、ご心配いただいているように、人材の確保が非常に課題になる。資産運用立国のような取組の中で地共連が世間的にも運用という立場で脚光を浴びるという、プラスの側面も期待はしている反面、社会全体がそうなっているので、人材を取られるということもやはり心配にはなるところ。

地共連は、公務員に非常に準拠しているという仕組みを取っていたり、あるいは組織の中に運用だけではなくて年金を担当する者がいて、ジョブローテーションが想定されている中で、簡単ではないが、本来組織が持っているミッションというものを達成していくためにどんな工夫があるか、内部管理の仕組みも検討していきたい。

#### 【委員】

この地共済全体の協力・連携が求められる、推進していきたいという特徴は、なかなか世の中全体には十分理解を得ているとは言い難いと思っている。年金に関心のある方たちは、財政検証、基本ポートフォリオ見直しと、5年に1回行われることと、アセットオーナーの運用高度化、資産運用立国という政策的な議論、これがどのように影響していくのか、今後、年末、来年に

かけていろいろなことがどう決められていくのかと注目されていると思うので、この地共済特有の部分も含め、きちんと発信していくしかないと思う。

また、よい人材を採用してとどまってもらうことは、公的な運用組織においては、おそらくグローバルに共通な課題の部分もあると思う。大分昔に海外調査で聞いたことがあるのだが、非常に公共性の高い社会的な意義の大きい存在であり、やりがいにも共感してもらうということと、ここできちんと経験を積むことの重要な意味を感じ取っていただき、場合によってはよそでやる、あるいは引き抜かれてしまうこともある。しかしその後、意義や意味をもう一回感じて戻ってくるなど、人材がよい意味で行きつ戻りつということも含めて、期待していくことを伺ったような記憶がある。

#### 【事務局】

我々が準拠している公務員の世界も、かなり人材の流動性が高まってきている実態がある。その事実を困ったものと捉えるのではなくて、一定程度それが起こることを前提に、むしろそれも含めて効果があるものだと思っている。地共済という世界は分かりづらい部分があるので、結果的には人材が一定程度流動することも、むしろそのPRにもつながるような側面もあろうかと思う。

そうした少し広い視点も持ちつつ、とはいえ中にいる人を非常に大事にするということは不可欠。そういった形で取り組んでいきたいと思う。

以上